

WBGT値計測・人と空間見守りセンサー

作業空間と個人のリスクを「見える化」する次世代の熱中対策。

現場
作業

健康管理
リスク評価



- センサーで個人とエリアの熱中リスクをリアルタイムで可視化
- 電池・配線不要のセンサーで、導入や維持管理の手間を削減
- 2025年安衛則改正に対応。WBGT28度以上の時間を自動記録
- 5段階の危険度表示と通知機能で、現場の安全を即座に把握

効果

ヒートマップで高リスクエリアを特定し、対策をピンポイント化
クラウド自動記録で、現場の見回りや手書き等の管理負担を解消
CSV出力データで、安全配慮義務の履行を客観的に証明可能

作業空間と個人のリスクを 同時に見える化

広い倉庫や機械熱の多い工場の中で、空調が効きにくいなど熱中リスクの高いエリアを特定し、より効果的な熱中対策の実施を可能にします。



電池レスセンサーを使用しており、電池交換メンテナンスや配線工事が不要です。

温度・湿度の測定で、WAGT値を計測



計測データは自動でグラフ化。各エリアの分析に活用可能



ヒートマップでエリアごとの暑さを可視化



日別月別の、暑さ記録を保管、CSV出力

実施内容記録チェック



暑さ指数の記録保管
 ※CSV出力



日別、月別チェック
 シートの記録保管
 ※クラウド保管、CSV出力